

令和5年度大和高田市生活安全推進協議会総会

開催日時 令和5年7月5日(水) 午前11時00分～午前11時30分

開催場所 大和高田市役所 3階庁議室

議案 第1号議案 令和4年度事業報告について
第2号議案 令和5年度事業計画(案)について
第3号議案 地域安全に関する質疑応答
第4号議案 その他

公開・非公開の別 公開

出席者 大和高田市生活安全推進協議会委員

増田武雄委員、大嶋エツ子委員、藤榮直樹委員

河村憲一委員、小野貴広委員、樋口一仁委員、磯部英樹委員(代理出席・水口真由美)

藤井節子委員、猶原秀和委員、辰巳雅俊委員、梶木義敏委員

沢田洋子委員、住田純子委員

大和高田市生活安全推進協議会顧問 朝山昭彦高田警察署長

大和高田市長 堀内大造

事務局 大和高田市市民生活部長 磯尾欣也、危機管理室長(生活安全課長) 村岡司朗、

参事 角谷繁樹、係長 北野井暢平、係員 西辻健太郎

欠席者 安井進委員、谷河照美委員

傍聴人 なし

1 大和高田市生活安全推進協議会委員委嘱

【事務局】

関係機関・団体の代表者の交代などにより、本協議会の委員として新たに委嘱されます皆様方には、お手元に委嘱状を置かせていただいております。

大和高田市地域婦人会連絡協議会 大嶋 エツ子 様

大和高田市校長会 藤榮 直樹 様

大和高田市PTA協議会 磯部 英樹 様ご欠席のため、代理の水口 真由美 様にご出席いただいております。

大和高田市議会 沢田 洋子 様

大和高田市園長会 住田 純子 様

只今、ご紹介いたしました皆様方には、「安心・安全なまちづくり」のため、積極的なご意見、ご指導をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

2 副会長選出

昨年度、副会長を選任する際には、女性団体を代表して地域婦人会連絡協議会から、また教育現場を代表して校長会からそれぞれ副会長を選任していただきました。

従いまして、前任者と交代されました地域婦人会連絡協議会 大嶋 エツ子 様、大和高田市校長会 藤榮 直樹 様に、副会長をお願いしたいと思います。皆様、如何でしょうか。

【委員】

(拍手)

【事務局】

拍手をもってご承認をいただきました。

【事務局】

それでは、大嶋様、藤榮様、よろしく願いいたします。

3 増田武雄会長挨拶

本会の会長を務めさせていただきます増田でございます。

本協議会におきましては、地域住民の方々が犯罪や事故に遭わない「安心・安全のまちづくり」の実現に向け、高田警察署のご指導とご協力をいただきながら、また、地域の皆さんの意見を拝聴し、効果的な施策を推進して参りたいと考えております。

また、各機関やボランティア団体の皆様には、防犯対策に積極的に取り組んでいただきたいと思っています。

地域の安心・安全な町づくりに対して、高田警察署のご協力を得ながら、皆様の一層のご協力を賜りますよう、お願いします。

皆様のご健康を祈念しまして、挨拶とさせていただきます。

堀内大造大和高田市市長挨拶

平素より、朝山高田警察署長をはじめ皆様方に、本市の「安心・安全のまちづくり」のために、格別のご理解、ご協力を賜っておりますことに、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

さて、奈良県内の犯罪の認知件数は、昨年同期と比較しまして増加傾向にあります。しかし、高齢者を騙す振り込め詐欺などの卑劣な特殊詐欺は相変わらず多発傾向であることから、依然として、犯罪の発生状況は厳しいものと言えます。

このような状況から、犯罪のない安心・安全なまちづくりを目指すためには、市民への情報提供をタイムリーに行い、警察への協力や子どもの見守り活動、自主防犯活動等への参加を通じ、市民一人ひとりが、地域の絆を大切にしながら、地域ぐるみで犯罪を抑止するという強い意識を持ち、犯罪の被害に遭わないための実践や工夫をすることが大事であり、そのような意味から、本協議会の担う役割は益々重要となっております。

どうか皆様方におかれましては、それぞれの職域、地域におきまして、防犯意識の高揚と各種犯罪の防止活動にご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、本日ご出席の皆様方のご健勝を心よりご祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

朝山昭彦高田警察署長（協議会顧問）挨拶

平素は、警察活動各般にわたりまして、とりわけ地域の防犯活動や子どもの見守り活動等に対しましてご理解ご協力を賜りまして、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

とくに当協議会委員の皆様には日本一安全で安心して暮らせる奈良の実現のためご尽力いただいておりますことに対しましても重ねて感謝申し上げます。

せっかくの機会でございますので、犯罪情勢について簡単に説明させていただきたいと思っております。

まず、県下の治安情勢をみますと、刑法犯の認知件数は5月末現在で2321件と前年同時期と比べますと、302件増加しております。中でもコンビニなどにおける強盗事件や車上狙いなど街頭における犯罪が増加しています。

また、高田警察署管内におきましては、前年同時期より認知件数こそ減少していますが、県下と同じく車上狙いが増加傾向にあります。そのような中で、社会的弱者である子どもや女性が被害者となるDVやストーカー、児童虐待といった人身安全関連事案が高止まりの状態が発生しております。さらに高齢者が狙われる振り込め詐欺を含む特殊詐欺が県下で前年同時期より27件多い102件発生しており、被害額も前年の約2倍となります約2億8700万円に上っております。また、高田署管内での特殊詐欺被害も件数こそ前年同時期と同じ8件であったものの被害額は前年よりも1000万円以上多い1870万円となっております。予断を許さない状況であります。

また、交通情勢に目を向けると県下では昨日現在で交通事故でお亡くなりになられた方は12名おられまして、人身事故も増加傾向といった状況です。また高田署管内におきまして、1年余り死亡事故は起こっていませんでしたが皆様もご承知のとおり6月9日、市内において残念ながらお一人お亡くなりになれる交通事故が発生している他、重傷者がでる交通事故が増加傾向にあります。このような厳しい情勢の中、警察では街頭活動や啓発活動を強化してとくに子ども、女性、高齢者の安全安心を守る取り組みを推進しておりますが、警察の取り組みだけでは地域の安全を確保することは到底困難な状況であります。このようなことから安全に安心して暮らせる地域を実現するためには地域の方々は今まで以上に防犯・交通安全意識を高めていただくとともに自らができる活動を実践していただき安心安全なまちを官民一体で作っていくことが重要であると考えております。この官民一体の諸活動に対しまして多大なるご支援をいただいております当協議会の存在は非常に頼もしくまた心強く感じているところでございます。自らの地域は自らの力で守る機運をますます高めていくために警察といたしましても地域の方々の自主的な活動に対してできる限りの支援をしていきたいと考えております。つきましては、今後とも地域の各種団体の活動に対しまして当協議会の一層のご協力を賜りますとともに本日ご参加の皆様方のご健勝を祈念いたしまして簡単ではございますが私の挨拶とさせていただきます。

4 出席者自己紹介

5 議案

【事務局】

只今から会議に移らせていただきます。

本会議は、本協議会規則第6条に基づき進行してまいります。また、本議会につきましては、委員の過半数のご出席をいただいておりますので、規則第6条第2項の定めにより、会議が成立することをご報告いたします。次に議長の選出であります。規則第6条第1項の定めによりまして、会長が議長となることとなっておりますので、増田会長に議長を務めていただきたいと思います。

(1) 第1号議案「令和4年度事業報告」

【議長】

1号議案であります「令和4年度事業報告」につきまして事務局より報告願います。

【事務局】

事務局を担当しております、生活安全課参事の角谷です。令和4年度の主な事業について報告させていただきます。

はじめに、各機関・団体の活動内容につきましては、お手元の資料2ページ目にまとめさせていただいております。ご覧いただけますとおり、「子どもや単身高齢者の見守り活動」や「各種街頭啓発活動」、「各種講演会や教室の開催」など、各機関・団体におかれまして、その特徴を活かした、多様かつ効果的な取組を推進しておられます。御尽力に感謝申し上げます。引き続き、大和高田市の安全・安心のために、御協力をよろしくお願いいたします。

なお、昨年度の大規模行事につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となっております。

次に、関連する補助金事業につきまして報告いたします。まず、防犯関係としましては、LED防犯灯設置補助金事業と特殊詐欺等防止対策機器購入費補助金事業があり、その他、安心と安全のまちづくり条例の目的を達成するためのものとして、高齢者運転免許証自主返納促進事業がございます。

1つ目の、「LED防犯灯設置補助金事業」につきましては、明るく住みよいまちづくりを目的として、各自治会と連携して実施しているもので、昨年度は55件の新規設置及びLED灯への交換に対して補助金を交付しております。また、本年度は5月末現在で、2件が設置済み、7件が手続中となっており、引き続き積極的に推進して参りたいと考えています。

2つ目の、「特殊詐欺等防止対策機器購入費補助金事業」につきましては、依然として全国的に多発している特殊詐欺の被害防止を図るもので、登録された番号以外からの着信に対して注意喚起する機能や通話内容を録音する機能などを有する電話機の購入に対しての補助を行っており、昨年度から開始しております。

昨年度は、67件に対して補助金を交付しており、本年度は5月末現在で4件が交付済み、7件が手続中となっております。皆様も報道などでご承知のとおり、特殊詐欺の手口は非常に巧妙かつ多様であり、言葉巧みな犯人のウソを、特に高齢者の方が見破るのは大変困難です。その点で、犯人と高齢者の方との接触を物理的に遮断してくれるこうした機器は、被害の未然防止に大変有用であると考えており、事務局としまして、本補助金を市民の方々に積極的に活用していただくべく、市のホームペ

ージや広報誌において広く周知しているところです。なお、これらの広報では、補助金事業と併せて、NTTによる特殊詐欺対策の取組についても紹介しています。補助金事業は、新たに機器を購入する場合が対象となりますが、NTTでは、機器購入後であっても、「ナンバーディスプレイ」の機能や「ナンバーリクエスト」という、非通知の相手に番号通知を求めるアナウンスを流す機能を、70歳以上の高齢者や同居家族からの申し出により、無償で提供しています。こうした官民の取組により、できるだけ多くの詐欺被害を減らしたいと考えておりますので、委員の皆様にもありまして、ご家族やお知り合いの方へこれらの取組を周知していただければ幸いです。（電話やHPから申込み可能）

最後に、「高齢者運転免許証自主返納促進事業」につきましては、安心と安全のまちづくりの一環として、交通事故防止の観点から関係機関と連携して実施しているものです。高齢者の認知機能の低下は避けがたいものであり、過去数年の公開資料を見ましても、人身事故において、過失が重い第1当事者となる高齢運転者（65歳以上）の比率は約26%と高水準で推移しています。アクセルとブレーキの踏み間違いによる事故など、高齢者運転者による事故は大きく報道されることも多く、先月は当市におきましても高齢運転者による死亡事故が発生しています。こうした悲惨な事故を未然に防止するためには、自主返納が非常に重要となり、昨年度は、185件の申請に対してICOCAカードを交付しております。本年度は5月末現在で28件が交付済みであり、引き続き積極的に推進して参ります。以上で報告を終わります。

【議長】

只今の1号議案に対し、ご意見ご質問はございませんか。

【委員】

（意見なし）

【議長】

質問等ないようですので、次の2号議案に移ります。

(2) 第2号議案「令和5年度事業計画（案）」

【議長】

2号議案であります「令和5年度事業計画（案）」につきまして、事務局より説明願います。

【事務局】

事務局より、3ページ目に記載の「令和5年度活動計画（案）」についてご説明いたします。本年度の活動は協議会規則第2条の所掌事務に基づきまして、4項目を掲げ推進してまいりたいと考えています。

- 1 防犯意識の高揚に関する広報啓発
- 2 自主防犯活動の推進及び自主防犯団体への活動支援
- 3 関係機関、団体との連携及び情報交換
- 4 各機関、各団体による各種活動の推進

の4つとなります。

1番に関連する本年度の行事関係につきましては、

- ・10月2日に「全国地域安全運動奈良県民大会」が「いかるがホール」において
- ・11月16日に「暴力団・銃器追放奈良県大会」が「田原本青垣生涯学習センター」において、開催されることが決定しています。

各行事の内容については、今後、詳細が決定すれば、連絡・共有させていただきますので、御多用のところとは存じますが、参加への御協力をお願いいたします。

2番の活動支援につきましては、効果的に各種活動を行っていただくため、啓発物品等の配分を継続して参ります。

3番、4番につきましては、引き続き、各機関・団体において効果的な活動を推進するとともに、それぞれが連携・情報共有を行いながら、安全と安心のまちづくりを実現して参りたいと考えております。

令和5年度活動計画（案）については、以上となります。

【議長】

只今の2号議案の説明に対しまして、ご意見ご質問はございませんか。

【委員】

（質疑なし）

【議長】

質問等ないようですので、3号議案に移ります。

(3) 第3号議案「地域安全に関する質疑応答」

【議長】

3号議案は「地域安全に関する質疑応答」であります。地域安全に関して建設的な提案やご意見はございませんか。

【委員】

（意見なし）

【議長】

それでは、平素から地域の安全にご尽力いただいております、高田警察署の方から何かございませんか。特に、県下の犯罪情勢や、多発する振り込め詐欺の現状などについて、お聞かせ願えれば幸いです。

【委員】

大和高田警察署生活安全課の辰巳と申します。犯罪情勢についてお話しさせていただきます。令和5年5月末現在で刑法犯認知件数は、前年より302件多い2321件となっており、その内空き巣など住宅対象進入窃盗が54件で前年同時期より8件減っていますが無施錠率が56%、車上狙いが115件と前年同時期より46件多く無施錠率が44%、自転車盗が270件と前年同時期より19件多くまた、無施錠率が73%といずれも無施錠の場合が多く、いかに施錠が防犯に有効であるかということとなっております。

また、特殊詐欺について暫定値であります、7月4日現在で県下120件の発生となっております。

り、前年同時期より 22 件多く、被害額も 3 億 990 万円に上っており、前年同時期より 7650 万円多く、令和 4 年の被害額が 4 億円ということを考えると、いかに被害が増加しているかがうかがえます。高田署管内においても前年同時期より 1 件多い 9 件の発生で被害額は 1970 万円に上っています。

中でも被害額の大きいケースは入居権語りです。手口を説明すると、まず不動産会社を名乗る者から自宅に電話がかかってきて、「あなたには老人ホームなどの入居権があります。不要であれば他の方に入居していただきたいので名義を貸していただきませんか」とお願いをされます。そこで名義を貸すと数日後、弁護士を語る者から「名義貸しは犯罪です。お金を払わないと捕まります」と言われ、支払いへ誘導されます。

また、LINEなどを用いた投資名目の詐欺もあり、投資グループへ招待し、アプリをダウンロードさせ、アプリに入金させます。アプリ上では利益が出ているように見えますが現金を引き出そうとする時に委託料や手数料を請求し、さらに高額の現金をだまし取ろうという手口です。

サポート詐欺というものもあり、PCやスマホに「ウイルスに感染しました」と突然表示され、サポートセンターに電話をかけると「ウイルスを除去するにはお金がかかります」と言われ、コンビニで電子マネーを購入させ、電子マネー番号を教えることで電子マネーを奪われます。

被害者は65歳以上が88%、また被害のでている120件のうち85件は自宅の固定電話にかかっており、いかに高齢者と固定電話が狙われやすいかということを示しております。

家族、友人にお金の話ができれば、慌てずに警察に相談して欲しいと思います。

【議長】

只今の高田警察署生活安全課辰巳課長のお話に対して何かご質問等はございませんか。

【委員】

(質疑なし)

【議長】

質問等ないので、4号議案に移ります。

(4) 第4号議案「その他」

【議長】

4号議案は「その他」であります。議案以外で何かご意見等ございませんか。

【委員】

(質疑なし)

【議長】

他に質問等ないので、会議を終了させていただきます。

【事務局】

これをもちまして「令和5年度大和高田市生活安全推進協議会総会」を終わらせていただきます。